

★広川町LPPの概要★

広川町津木地区の「魅力発見・発信」を目的に活動。
2014年から活動し、今年で9年目。

昨年度まで津木地区の「お花畑」の活用をテーマに活動。今年度は、地域の方との話し合いの末、広川町の特産品である梅とスモモの交配種「冷凍つゆあかね」のマーケティングに方向性を転換。現在毎週学内で会議を行っている。

★会議★

毎週会議を行った。会議内容は、主にマーケティング学習、それを基にした、「冷凍つゆあかね」のマーケティングである。基本的知識の習得からはじめ、現在、今後の活動土台をつくるまでに至っている。

★GGP★

今年度も、和歌山市駅グリーンプロジェクトに参加。つゆあかねジャムの売れ行きは好調。来年は多商品の売り上げ向上を狙いたい。

★現地訪問★

今年度は2回現地訪問を実施。第1回では、ツギー谷のお花畑で苗植え・種まきを行い、第2回では、地域住民の方々とコミュニケーション機会を頂いた。地域により密着した活動を目指したい。

★課題点★

課題点として2つ。まず、耕作放棄地問題。そして、鳥獣被害問題。この対応が今後の課題として挙げられる。いずれも全国の農山村を取り巻く問題であり、広川町も例外ではない。

◎今後の展望

お花畑の持続・発展を視野に入れつつ、花に関する知識をさらに取り組むことを目標に。加えて、現在取り扱っている、「冷凍つゆあかね」を、マーケティングの観点から徹底的に分析、実線していきたい。



▲つゆあかねの開封前後。美しい紅色と甘酸っぱい味が特徴。ハートのパッケージが魅力。

Hirogawa LPP



▲会議の様子。空きコマに集まり、冷凍つゆあかねのマーケティング・販売について模索している。



▲広川町に咲いていたアジサイ。広川町には様々な花が咲いている。